

大学生等による地域課題の解決支援(萩地域)

《萩市小川地区その②》

1 実施主体

平山台果樹生産組合

2 連携大学

広島修道大学三浦、富川ゼミ

3 第2回支援活動：平成25年10月19日(土)～20日(日)

4 参加者

地元組合員等 20人、大学生 8人

5 支援活動(研修会)の概要

- (1) かのさと体験観光協会事務局長仲田芳人さん(岡山県新見市)をお迎えし、地元あるきプラン、体験の企画、立案、運営について受講

① グリーン・ツーリズムの取組の考え

② かのさと体験観光協会の3つの特徴

※研修の詳細な内容は県民局へ照会してください。



- (2) 「地域資源」探しの視点と方法について受講

① 伝統の食(祭り、正月、節句)

・黒晶煮、いわしなます、生鯖の押し寿司 など

② 保存食(食品の保存方法)

・横穴、・もみがら、床下

③ 遊び(この辺の子供時代の遊び、四季の遊び)

・川遊びなど

- (3) グループごとにプランづくり

課題(テーマ)

○夏にオートキャンプ場(前泊)に来た家族へ“日帰りプラン”を提案

○午前2時間+昼食+午後2時間

(4) プラン発表

①「こんにやく」チーム

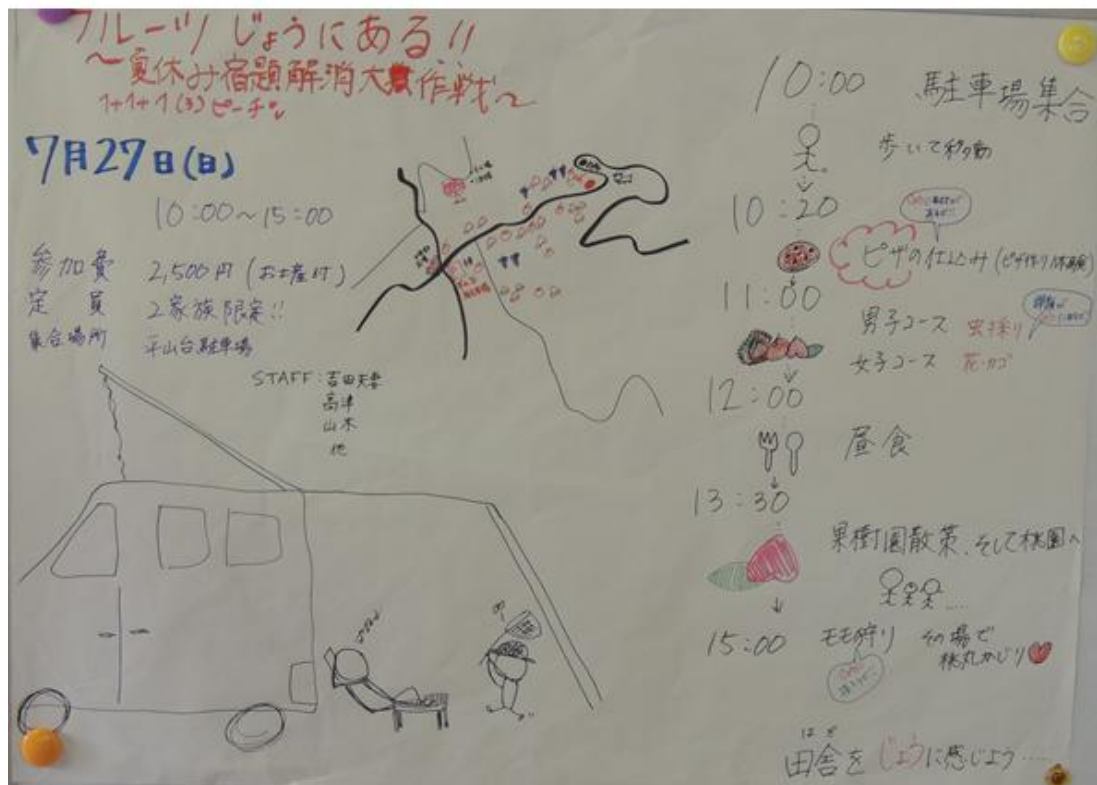
○プログラム名：平山台でおとぎ話 ～竹取物語&ももころう

②「1+1+1+(3)ピーチ」チーム

○プログラム名：フルーツじょうにある ～夏休み宿題解消大作戦

③「フル探」チーム

○プログラム名：平山台フルーツ探検



(5) 講評

- 良いプランを作るためには、自分たちが知識、体験を増やすことが重要
- 人を楽しませるためには、自分達がやってみて楽しいプランを作ることが必要
- ここは安全か、プランづくりにおいて常に相手のことに配慮
- 方言とか地域性を前面に
- その地域になれば他の地域の人、モノを活用
- ターゲットのイメージをもっと具体化
- 体験ツアーに参加した“しるし”による周辺の人々の認知
- 都市部の消費者が商品を選ぶ際の情報、アドバイスが必要
- どのような生き方、暮らしをしているか、お互いを知る交流が必要